

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和7年9月24日

| | |
|---------------|---------------------------------|
| 事業実施地区 | 若里西町区 |
| 事業名 | 避難訓練時の本部・役員用テントなど防災備品の設置 |
| 団体名及び 代表者名 | (団体名) 若里西町区自主防災会 (代表者名) 松平直樹 |

■事業概要（選考委員会の助言を含む）

| | |
|---|--------------------|
| 1 洪水・地震災害への区民の意識向上の為9月21日（日）10:00~12:00 防災避難訓練を公民館で実施。緊急連絡網の実施試験も併せて行った。 | 事業完了日 令和7年9月21日 |
| 2 鶴賀消防署指導による消火・救助訓練・講演と当区の古屋防災指導員 のマイタイムライン研修、当区指定避難所4か所の説明を実施 | 総事業費 115,210円 |
| 3 テントは夏祭りで活用。避難訓練では受付、発電機試験に使った。また 母袋公民館の事例から、防災用具入れを新たに設定、区民に紹介した。 | 補助金 113,000円 |

※活動状況や備品の表示がわかる写真・成果物等を別途添付

■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

| |
|--|
| 1 自主防災会・民生委員・育成会・消防団員の参加で防災意識向上した |
| 2 区契約避難所の認知を図り、各隣組の避難方法について認識が向上できた |
| 3 最近では災害派生から短時間の避難が増えておりマイタイムラインの短縮化を再検討する |

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

■事業評価（該当欄に○）

| | 予定を上回る | 予定どおり | 概ね予定どおり | 予定を下回る |
|-----------------|---|-------|---------|--------|
| 事業の内容 | | ○ | | |
| 事業の効果 | ○ | | | |
| 特記事項 (評価理由等) | 自主防災会関係者の60%以上が参加。避難所やタイムラインについての質疑も活発で、最近の各地の災害頻発で自己責任の意識の高まりを感じた。 | | | |

■今後の取組予定

| |
|--|
| <p>防災避難訓練の継続の要望が高く、年度内にもう1度実施を検討する。</p> <p>また防災月間である9月は定期実施を宣言した。</p> <p>緊急連絡網をLINEで構築してきた。まだ未登録の自主防災会関係者は早く登録する。</p> <p>LINEでは防災関係情報や河川情報など提供しているが、今後も増やしていく。</p> |
|--|

支所発地域力向上支援金 事業評価 (芹田支所)

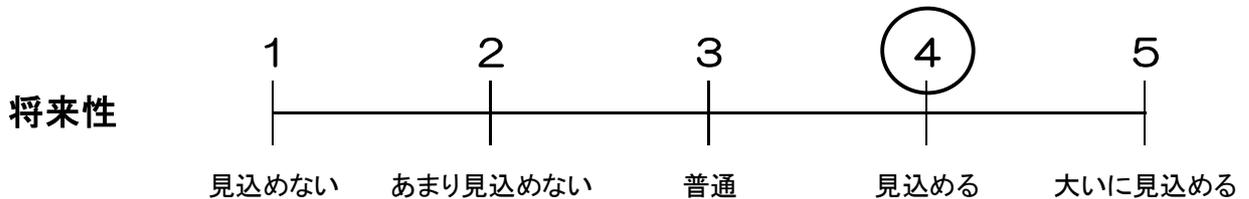
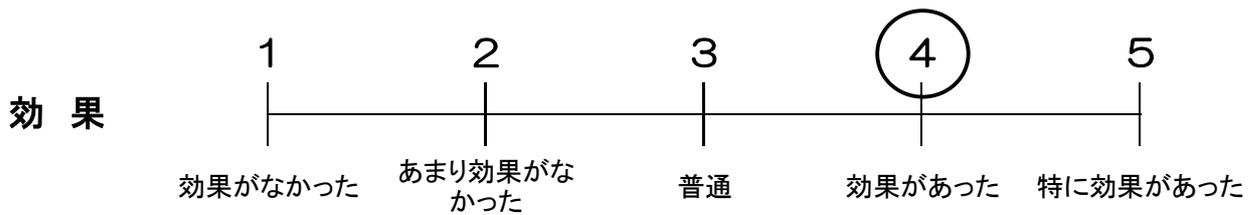
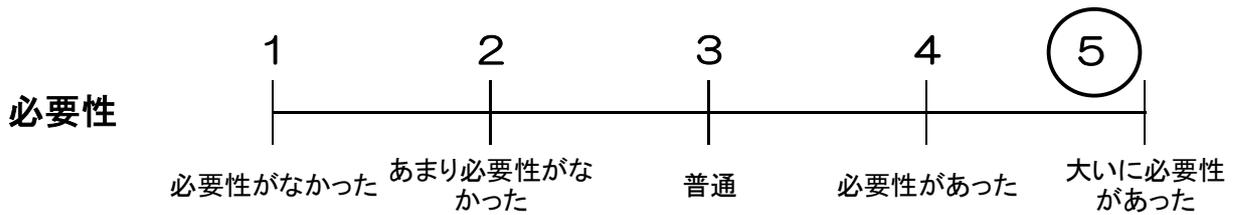
令和7年10月20日

| | |
|-----|-------|
| 事業名 | 若里西町区 |
|-----|-------|

| | |
|-----|--------------------------|
| 団体名 | 避難訓練時の本部・役員用テントなど防災備品の設置 |
|-----|--------------------------|

評価項目 (選考基準の視点で評価)

| | |
|------|--------|
| 事業区分 | 安全安心活動 |
|------|--------|



支所長の総合評価 (次年度以降の活動への助言等)

若里西町区は、氾濫流エリアを抱えており、日常から防災意識が高い住民が多い地域であります。本事業の実施により、避難方法の見直し、新たな緊急連絡網の構築等、住民の防災意識がアップデートされたことは高く評価できます。

今後も、設置備品を利用した継続的な防災訓練の実施や地区行事等において備品を幅広く活用していただくことで、様々な住民活動につながっていくことを願います。